

氏名(本籍)	大原 高秋 (兵庫県)		
学位の種類	博士 (学術)		
学位記番号	甲第 335 号		
学位授与年月日	平成 30 年 9 月 25 日		
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項		
研究科・専攻名	工学研究科・基盤工学専攻		
学位論文題目	日本のバイオ医薬品研究開発におけるプロセス及び組織間関係に関する研究		
論文審査	(主査) 高知工科大学	教授	那須 清吾
	高知工科大学	教授	永島 正康
	高知工科大学	教授	桂 信太郎
	高知工科大学	教授	高木 方隆
	高知工科大学	教授	上村 浩

審査結果の要旨

1.論文の評価

本研究では、日本のバイオ医薬品研究開発における参入容易性及び上市困難性の理由について、技術面だけではなく技術経営視点を中心に、バイオ医薬品の研究開発のプロセス構造化を行いながら、バイオ医薬品の特性分析を多くの事実、企業事例から記述的推論を行っている。参入容易性及び上市困難性の理由について、製薬会社の研究開発プロセス全体、組織間関係、戦略の3つに注目し、成功事例分析により組織間関係論の協同戦略パースペクティブと学習パースペクティブに基づく連携や学習と言う共通の要因を見出す等、複数の組織間関係論の各パースペクティブの動きを捉えたダイナミックな視点での分析を行っており、先行研究にはなかった新しいいくつかの視点を提示している。新しいプラットフォーム技術に基づく、全く新しいバイオ医薬品を研究開発する場合どうすれば上市困難性を克服できるか、本研究の参入容易性と上市困難性のメカニズムモデルにより、新医薬品においてキーとなるステップを見出し、最良の戦略選択を組織間関係論と関与させながら考案出来る成果であり、実務的インパクトも高いと評価出来る。

2.審査の経過と結果

- (1) 平成30年7月4日 博士後期課程委員会で学位論文の受理を決定し、5名がその審査委員として指名された。
- (2) 平成30年8月24日 公開論文審査発表会及び最終試験を実施した。
- (3) 平成30年9月5日 博士後期課程委員会で学位授与を可とし、教育研究審議会で承認された。